



北限のブナ林

～伐採の危機を乗り越え広がる豊かな森～



ブナは温帯を代表する樹種で、北海道では渡島半島だけに分布する。黒松内町はその北限で、太平洋側の長万部と日本海側の寿都を結ぶ黒松内低地帯が境界線。黒松内町では、自然の恵みを伝える自然学校の開設など、ブナ林が育む豊かな生物多様性を活かした取り組みが進められている。また、渡島の七飯町には幕末に在住したドイツ人ガルトナーの植林したブナ人工林が残る。